

### 3. 事業報告書

## 事業報告書

平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

#### (1) 農作物共済関係

(引 受)

水 稻 関 係

和歌山県農業共済組合

項 目 支所名	組合員数	引受面積	引受筆数	引受収量	共済金額	保険金額	通常責任 共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
	人	a	筆	kg	円	円	円	円	円	円
北 部	6,417	244,319.1	26,486	8,522,598	1,482,340,040	/	/	2,696,960	/	/
中 部	1,652	50,918.2	6,963	1,656,236	288,185,064			621,885		
南 部	5,302	211,232.0	29,829	6,968,024	1,212,436,176			2,831,679		
合 計	13,371	506,469.3	63,278	17,146,858	2,982,961,280	2,925,062,002	58,212,891	6,150,524	1,206,482	7,357,006

#### ○引受の概況

平成29年産水稻の引受面積は、5,065ha(前年比96.3%、計画比97.5%)で前年に比べ194ha減少した。この内、飼料用米については引受戸数2戸(1.2ha)であった。主な減少理由としては、高齢化による離農の為である。近畿農政局和歌山支局公表の作付面積6,560haに対する引受率は77.2%となり前年産より1.1%減となった。

引受収量は、17,147トン(前年比96.8%、計画比98.1%)で県平均実行単収は前年より1kg増の484kgであった。

単位当たり共済金額の告示最高額は174円で前年に対し1円増、飼料用米は40円で前年同額となった。共済金額は、引受面積及び引受収量の減少により8,083万円減の29億8,296万円(前年比97.4%、計画比98.6%)となった。

1戸当たり平均については、面積38a、筆数5筆、農家負担掛金は460円で、10アール当たり農家負担掛金は121円となった。

麦 関 係 (29年産)

項 目 組合名	組合員数	引受面積	引受筆数	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
	人	a	筆	kg	円	円	円	円	円	円
北 部	2	144.3	16	1,146	19,552	18,799	322	586		
中 部										
南 部										
合 計	2	144.3	16	1,146	19,552	18,799	322	586	155	741
異常責任保有保険金額							117			

麦 関 係 (30年産)

項 目 支所名	組合員数	引受面積	引受筆数	引受収量	共済金額	保険金額	通常責任 共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
	人	a	筆	kg	円	円	円	円	円	円
北 部	2	99.9	7	767	14,899	13,992	907	446		
中 部										
南 部										
合 計	2	99.9	7	767	14,899	13,992	907	446	119	565

○引受の概況

平成30年産麦の引受戸数は2戸で、面積は99.9a(前年比69.2%、計画比66.6%)で、前年に比べ44.4a減少した。筆数は7筆で、共済金額は14,899円(前年比76.2%、計画比53.2%)となった。

## (被 害)

## 水 稻 関 係

支所名	項目	被 害 組 合 員 数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	共 済 金	
						共済金額	
		人	a	kg		円	%
北	部	136	1,749.3	16,937	2,947,038		0.2
中	部	65	861.5	12,135	2,111,490		0.7
南	部	210	2,747.0	38,278	6,660,372		0.5
合	計	411	5,357.8	67,350	11,718,900		0.4

## ○被害及び評価の概況

平成29年産水稻については、出穂期は、7月上旬以降おおむね高温・多照で経過したことから、生育は順調に進み、最盛期は8月7日で平年に比べ1日早くなった。穂数は、6月下旬の日照時間が平年を下回ったため、初期生育はやや抑制され、分けつはやや緩慢であったものの、7月上旬以降の高温・多照により、生育は順調となり分けつも促進されたことから「やや多い」となった。

被害については、県下の中山間部を中心に獣害(イノシシ・サル・シカ)、一部圃場において病虫害(いもち病・内えい褐変病・もみ枯れ細菌病・スクミリングガイ・トビイロウンカ)が見られた。また、6月20日の豪雨により、すさみ町・古座川町において、8月7日(台風5号)による豪雨で広川町に土砂の流入が発生した。さらに、田植期である5月上旬～6月中旬にかけて降水量が少なかったことにより、一部地域の溜池・天水利用田では生育不良による被害が発生した。

以上の状況により、近畿農政局和歌山支局公表の作況指数は102の「やや良」(全国100、近畿101)で3割以上の減収があった筆は少なく、通常災害となった。

## 麦 関 係

支所名	項目	被 害 組 合 員 数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	共 済 金	
						共済金額	
		人	a	kg		円	%
北	部	0	0.0	0	0		-
合	計	0	0.0	0	0		-

## ○被害及び評価の概況

平成29年産麦については、播種以降順調に推移し平年作となり、無被害であった。

## (支 払)

区 分	項 目	支 払 月 日	支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源				
				保 険 金	手 持 共 済 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他
			円	円	円	円	円	円
水 稻		12月12日	11,718,900		7,357,006	4,361,894		
麦		-	-					

(2)家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引受頭数 計画頭数	共済金額	保険金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	技術料
	頭	頭	頭	%	円	円	円	円	円	円
成 乳 牛	597	537	530	98.7	65,666,300	52,533,040	3,081,356	1,107,261	/	/
育 成 乳 牛	29	9	9	100.0	1,377,600	1,102,080				
乳用子牛等	359	0	0	0.0	0	0				
肥育用成牛	1,634	474	393	82.9	105,740,800	84,592,640	3,610,306	1,003,326		
肥育用子牛	84	10	3	30.0	170,100	136,080				
その他の 肉用成牛	707	520	566	108.8	121,158,700	96,926,960				
その他の 肉用子牛等	807	631	649	102.9	60,513,700	48,410,960				
合 計	4,217	2,181	2,150	98.6	354,627,200	283,701,760	6,691,662	2,110,587	8,802,249	4,381,053

支所名	成 乳 牛		育 成 乳 牛		乳 用 子 牛 等		肥 育 用 成 牛		肥 育 用 子 牛		その他の肉用成牛	
	引 受 頭 数	共 済 金 額	引 受 頭 数	共 済 金 額	引 受 頭 数	共 済 金 額	引 受 頭 数	共 済 金 額	引 受 頭 数	共 済 金 額	引 受 頭 数	共 済 金 額
	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円
北 部	63	9,143,700	4	502,500			242	66,599,400	1	40,500	105	18,903,700
中 部	29	2,852,400							2	129,600	23	10,146,600
南 部	438	53,670,200	5	875,100			151	39,141,400			438	92,108,400
合 計	530	65,666,300	9	1,377,600	0	0	393	105,740,800	3	170,100	566	121,158,700

○引受の概況

引受頭数合計は2,150頭で、計画頭数2,181頭に対して31頭減の98.6%となり、前年度実績2,085頭に対して65頭増の103.1%となった。

内訳は、畜種別にみると、成乳牛で10頭(前年比98.1%)減少し、育成乳牛で同頭数(同100.0%)となった。肥育用成牛で29頭(同93.1%)、肥育用子牛で7頭(同30.0%)減少した。その他の肉用成牛で65頭(同113.0%)、その他の肉用子牛等で46頭(同107.6%)増加した。

総共済金額は、3億5,463万円で前年度の2億9,884万円に対して5,579万円増(同118.7%)、事業計画3億0,382万円に対して5,081万円増(同116.7%)となった。

支所名	その他の肉用子牛等		合 計	
	引 受 頭 数	共 済 金 額	引 受 頭 数	共 済 金 額
	頭	円	頭	円
北 部	107	8,008,800	522	103,198,600
中 部	29	4,797,600	83	17,926,200
南 部	513	47,707,300	1,545	233,502,400
合 計	649	60,513,700	2,150	354,627,200

## (事 故)

項目 共済目的	死 廃 事 故					病 傷 事 故		
	死 亡 頭 数	廢 用 頭 数	総頭数	共 済 金	保 険 金	件 数	共 済 金	保 険 金
成 乳 牛	24	14	38	3,927,277	1,963,626	375	4,098,290	520,135
育 成 乳 牛						10	60,590	7,300
乳 用 子 牛 等								
肥 育 用 成 牛	2	5	7	850,908	425,453	48	676,010	124,455
肥 育 用 子 牛								
そ の 他 の 肉 用 成 牛	6	2	8	1,787,300	893,645	473	3,382,530	345,305
そ の 他 の 肉 用 子 牛 等	28		28	2,619,856	1,309,918	122	905,210	125,845
合 計	60	21	81	9,185,341	4,592,642	1,028	9,122,630	1,123,040

## 死 廃 事 故

共済目的 支所名	成 乳 牛		育 成 乳 牛		乳 用 子 牛 等		肥 育 用 成 牛	
	死 廃 頭 数	共 済 金	死 廃 頭 数	共 済 金	死 廃 頭 数	共 済 金	死 廃 頭 数	共 済 金
北 部	3	354,466					3	549,201
中 部	2	160,424						
南 部	33	3,412,387					4	301,707
合 計	38	3,927,277	0	0	0	0	7	850,908

共済目的 支所名	肥 育 用 子 牛		そ の 他 の 肉 用 成 牛		そ の 他 の 肉 用 子 牛 等		合 計	
	死 廃 頭 数	共 済 金	死 廃 頭 数	共 済 金	死 廃 頭 数	共 済 金	死 廃 頭 数	共 済 金
北 部					6	518,667	12	1,422,334
中 部			1	504,704	2	278,250	5	943,378
南 部			7	1,282,596	20	1,822,939	64	6,819,629
合 計	0	0	8	1,787,300	28	2,619,856	81	9,185,341

病傷事故

共済目的 支所名	成乳牛		育成乳牛		乳用子牛等		肥育用成牛	
	件数	共済金	件数	共済金	件数	共済金	件数	共済金
	件	円	件	円	件	円	件	円
北 部	90	781,500					36	526,970
中 部	18	248,160						
南 部	267	3,068,630	10	60,590			12	149,040
合 計	375	4,098,290	10	60,590	0	0	48	676,010

共済目的 支所名	肥育用子牛		その他の肉用成牛		その他の肉用子牛等		合 計	
	件数	共済金	件数	共済金	件数	共済金	件数	共済金
	件	円	件	円	件	円	件	円
北 部			125	779,020	31	122,330	282	2,209,820
中 部			61	299,520	4	18,120	83	565,800
南 部			287	2,303,990	87	764,760	663	6,347,010
合 計	0	0	473	3,382,530	122	905,210	1,028	9,122,630

○事故の概況

死傷事故頭数では、前年度に比べ成乳牛で6頭、育成乳牛で1頭、肥育用成牛で1頭、その他の肉用成牛で5頭減少し、その他の肉用子牛等で6頭増加した。病傷事故件数は、成乳牛で104件、育成乳牛で5件、肥育用子牛で2件減少したが、肥育用成牛で8件、その他の肉用成牛で28件、その他の肉用子牛等で29件増加した。

共済金支払額では、死傷事故で16万円(前年比101.8%)増加し、病傷事故では70万円(同92.8%)減少した。

死傷事故の発生頭数は減少したものの、一頭当たりの支払共済金が増加したため、支払共済金は全体として増加した。病傷事故では、乳用牛の事故が大きく減少した一方で、肉用牛の事故は増加し、全体の事故件数は前年の95.7%となった。

1頭当たり及び1件当たりの支払共済金は、下記のとおりである。

死 傷	}	成乳牛	103,349円(前年 73,488円)	病 傷	}	成乳牛	10,928円(前年 11,238円)
		育成乳牛	0円(前年 36,293円)			育成乳牛	6,059円(前年 4,794円)
		乳用子牛等	0円(前年 0円)			乳用子牛等	0円(前年 0円)
		肥育用成牛	121,558円(前年 200,607円)			肥育用成牛	14,083円(前年 17,061円)
		肥育用子牛	0円(前年 0円)			肥育用子牛	0円(前年 8,490円)
		その他の肉用成牛	223,412円(前年 189,130円)			その他の肉用成牛	7,151円(前年 6,678円)
		その他の肉用子牛等	93,566円(前年 76,602円)			その他の肉用子牛等	7,419円(前年 7,577円)

(損害防止)

実施種目	対象頭数	経費概算	摘 要
特定損害防止	0	0	
一般損害防止	1,556	218,484	乳用牛・肉用牛の消化器病予防対策

## (3) 果樹共済関係

(引 受)

年 度	果 樹 共 済 再 保 険 区 分		組 合 員 数	引 受 面 積	標 準 収 穫 量	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	交 付 金 又 は △ 納 入 保 険 料	手 持 共 済 掛 金	
	区 分	果 樹 区 分								
27 年 度	半 相 殺 減 収 総 合	一 般 方 式	うんしゅうみかん	延 4,852 実 3,175	236,861.2	55,916,904	4,753,405,000	169,012,908	81,330,700	250,343,608
			指定かんきつ	延 809 実 728	18,954.5	4,253,404	370,368,000	8,992,553	7,835,553	16,828,106
			キウイフルーツ	107	2,427.0	583,053	91,357,000	2,649,353	676,042	3,325,395
	計		延 5,768 実 4,010	258,242.7	60,753,361	5,215,130,000	180,654,814	89,842,295	270,497,109	
28 年 度	半 相 殺 減 収 総 合	一 般 方 式	うんしゅうみかん	延 4,785 実 3,119	239,007.7	56,958,813	4,517,539,000	156,466,930	81,599,062	238,065,992
			指定かんきつ	延 793 実 716	18,704.8	4,151,163	351,495,000	8,089,794	7,554,189	15,643,983
			も も	延 838 実 568	19,005.3	2,616,887	582,755,000	17,942,462	7,109,543	25,052,005
			び わ	125	2,897.2	167,113	87,275,000	3,858,138	323,501	4,181,639
			か き	延 1,482 実 1,211	44,942.0	8,081,977	814,636,000	25,909,016	16,561,978	42,470,994
			う め	延 2,930 実 2,741	207,196.3	29,153,485	6,204,101,000	252,504,530	113,299,311	365,803,841
			す も も	148	2,694.0	200,485	45,986,000	1,660,665	682,334	2,342,999
	キウイフルーツ	116	2,692.0	646,456	104,875,000	2,464,594	1,237,494	3,702,088		
計		延 11,217 実 8,744	537,139.3	101,976,379	12,708,662,000	468,896,129	228,367,412	697,263,541		

年 度	果 樹 共 済 保 険 区 分		組 合 員 数	引 受 面 積	標 準 収 穫 量	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	交 付 金 又 は △ 納 入 保 険 料	手 持 共 済 掛 金	
	区 分	果 樹 区 分								
29 年 度	半 相 殺 減 収 総 合	一 般	うんしゅうみかん	人 延 4,669 実 3,037	a	kg	円	円	円	円
			指定かんきつ	延 757 実 690	232,563.6	54,726,691	5,037,660,000	175,138,807	88,993,653	264,132,460
			も も	延 793 実 535	16,842.0	3,760,555	361,076,000	8,275,381	7,625,272	15,900,653
			び わ	123	18,079.6	2,420,125	576,724,000	18,033,500	7,133,219	25,166,719
		方 式	か き	延 1,424 実 1,159	2,908.4	144,525	80,523,000	3,520,999	332,268	3,853,267
			う め	延 2,901 実 2,709	42,694.8	8,022,745	781,847,000	24,912,042	15,763,875	40,675,917
			す も も	156	213,655.3	29,454,965	5,762,137,000	234,982,553	105,334,295	340,316,848
			キウイフルーツ	162	2,997.0	244,828	59,608,000	2,155,770	868,230	3,024,000
		計	延 10,985 実 8,571	533,351.2	99,624,639	12,808,380,000	470,554,143	227,844,864	698,399,007	



## ○引受の概況

### ・30年産うんしゅうみかん(半相殺一般)

引受面積は3支所ともに前年度実績を下回ったため、64haの減、事業計画に対し74haの未達となった。引受率については32.5%となり、前年に比べ0.3%低下した。

共済金額は指示単価の上昇により前年度実績を上回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	97.4%	引受面積	97.3%	共済金額	111.5%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	96.9%	共済金額	111.0%

### ・31年産指定かんきつ(半相殺一般)

引受面積は中部支所で増加したが、北部支所・南部支所で減少したため、前年度実績に対し18haの減、事業計画に対し24haの未達となった。引受率については9.9%となり、前年に比べ2.4%低下した。

共済金額は指示単価の上昇により前年度実績を上回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	96.4%	引受面積	90.0%	共済金額	102.7%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	87.7%	共済金額	100.4%

### ・30年産もも(半相殺一般)

引受面積は北部支所・中部支所で前年度実績を下回ったため、9haの減、事業計画に対し22haの未達となった。引受率については23.6%となり、前年に比べ1.2%低下した。

共済金額は指示単価が上昇したものの、引受面積の減少により前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	94.2%	引受面積	95.1%	共済金額	99.0%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	89.1%	共済金額	92.7%

### ・30年産びわ(半相殺一般)

引受面積は中部支所で前年度実績を上回ったため、0.1haの増、事業計画に対し0.9haの未達となった。引受率については67.6%となり、前年に比べ7.2%上昇した。

共済金額は引受面積が増加したものの、標準収穫量の減少により前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	98.4%	引受面積	100.4%	共済金額	92.3%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	96.9%	共済金額	89.1%

### ・30年産かき(半相殺一般)

引受面積は北部支所・中部支所で前年度実績を下回ったため、22haの減、事業計画に対し33haの未達となった。引受率については16.4%となり、前年に比べ0.6%低下した。

共済金額は指示単価の下降により前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	95.7%	引受面積	95.0%	共済金額	96.0%
事業計画対比	・・・・・・・・			引受面積	92.8%	共済金額	94.0%

・30年産うめ(半相殺一般)

引受面積は北部支所・中部支所で減少したが、南部支所で増加したため、前年度実績に対し65haの増、事業計画に対し45haの増で達成となった。引受率については42.1%となり、前年に比べ1.5%上昇した。

共済金額は引受面積が増加したものの、指示単価の下降により前年度実績を下回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	98.8%	引受面積	103.1%	共済金額	92.9%
事業計画対比	.....			引受面積	102.1%	共済金額	92.0%

・30年産すもも(半相殺一般)

引受面積は3支所ともに増加したため、前年度実績に対し3haの増、事業計画に対し1haの増で達成となった。引受率については10.3%となり、前年に比べ0.1%上昇した。

共済金額は引受面積の増加したことに加え、指示単価の上昇により前年度実績を上回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	105.4%	引受面積	111.2%	共済金額	129.6%
事業計画対比	.....			引受面積	96.7%	共済金額	115.9%

・30年産キウイフルーツ(半相殺一般)

引受面積は北部支所で減少したが中部支所で増加したため、前年度実績に対し9haの増、事業計画に対し3haの増で達成となった。引受率については23.9%となり、前年に比べ2.0%低下した。

共済金額は引受面積の増加したことに加え、指示単価の上昇により前年度実績を上回る結果となった。

前年度対比	・・・	戸数	139.7%	引受面積	134.1%	共済金額	141.9%
事業計画対比	.....			引受面積	109.4%	共済金額	115.8%

・果樹共済目的計

引受面積は南部支所で増加したが、北部支所・中部支所で減少したため、前年度実績に対し38haの減、事業計画の107haの減となった。引受率については30.0%となり、前年に比べ0.3%低下した。

共済金額は、うんしゅうみかん・指定かんきつ・もも・びわ・すもも・キウイフルーツの指示単価の上昇により、前年度実績を上回る結果となった。

前年度対比	・・・	実戸数	96.3%	引受面積	99.3%	共済金額	100.8%
事業計画対比	.....			引受面積	98.0%	共済金額	99.4%

果樹共済 保険区分		支所名				北 部 支 所				中 部 支 所				南 部 支 所				計			
		引受戸数	引受面積	引受園地数	共済金額	引受戸数	引受面積	引受園地数	共済金額	引受戸数	引受面積	引受園地数	共済金額	引受戸数	引受面積	引受園地数	共済金額				
29 年 度 合 計	半 相 殺 減 收 式 合	一 般 方	うんしゅうみかん	延 373 実 280	a 11,028.0	園 780	円 120,124,000	延 3,732 実 2,219	a 197,373.6	園 18,554	円 4,535,464,000	延 564 実 538	a 24,162.0	園 1,500	円 382,072,000	延 4,669 実 3,037	a 232,563.6	園 20,834	円 5,037,660,000		
			指定かんきつ	延 182 実 173	3,260.0	356	55,678,000	延 511 実 453	11,912.0	1,504	273,154,000	延 64 実 64	1,670.0	136	32,244,000	延 757 実 690	16,842.0	1,996	361,076,000		
			も も	延 751 実 504	16,651.0	2,377	514,393,000	延 42 実 31	1,428.6	218	62,331,000					延 793 実 535	18,079.6	2,595	576,724,000		
			び わ					123	2,908.4	352	80,523,000					123	2,908.4	352	80,523,000		
			か き	延 1,321 実 1,087	39,839.0	3,520	742,867,000	延 103 実 72	2,855.8	272	38,980,000					延 1,424 実 1,159	42,694.8	3,792	781,847,000		
			う め	延 223 実 223	4,793.0	425	31,138,000	延 55 実 55	1,547.3	103	15,643,000	延 2,623 実 2,431	207,315.0	10,567	5,715,356,000	延 2,901 実 2,709	213,655.3	11,095	5,762,137,000		
			す も も	115	2,215.0	267	31,440,000	4	81.0	9	2,182,000	37	701.0	65	25,986,000	156	2,997.0	341	59,608,000		
			キウイフルーツ	116	2,676.0	220	112,547,000	46	934.5	91	36,258,000					162	3,610.5	311	148,805,000		
合 計		延 3,081 実 2,498	80,462.0	7,945	1,608,187,000	延 4,616 実 3,003	219,041.2	21,103	5,044,535,000	延 3,288 実 3,070	233,848.0	12,268	6,155,658,000	延 10,985 実 8,571	533,351.2	41,316	12,808,380,000				

## (被 害)

果樹共済 再保険区分	項 目		被 害 組 合 数	被 害 組 合 員 数	認 定 減 収 量	共 済 金 額	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共 済 金 額
うんしゅうみかん 半相一般28年産	3	人 延 1,160 実 1,058		kg 6,089,751	千円 4,753,405	円 258,841,580	円 155,304,948	% 5.4	
キウイフルーツ 半相一般28年産	1	34		69,243	91,357	2,701,620	1,620,972	3.0	
指定かんきつ 半相一般29年産	3	延 156 実 152		355,301	370,368	13,713,640	8,228,184	3.7	
も 半相一般29年産	2	延 188 実 184		312,781	582,755	19,626,200	11,775,720	3.4	
び 半相一般29年産	1	24		9,636	87,275	2,208,000	1,324,800	2.5	
か 半相一般29年産	2	延 359 実 343		902,750	814,636	28,073,960	16,844,376	3.4	
う 半相一般29年産	3	延 933 実 919		4,674,572	6,204,101	718,599,728	549,335,161	11.6	
す 半相一般29年産	2	53		39,085	45,986	4,510,020	3,400,530	9.8	
合 計	延 17 実 3	延 2,907 実 2,767		12,453,119	12,949,883	1,048,274,748	747,834,691	8.1	

## ○ 被害及び評価の概況

### ア. 平成28年産 うんしゅうみかん(半相殺一般)

- ・干 害 : 平成28年7月上旬から8月下旬の干ばつ(高温・多照・寡雨推移)により、果実肥大が抑制され小玉果が発生した。
- ・風 水 害 : 生育期間中、収穫期にかけて台風16号(9月20日)、台風18号(10月5日)の上陸に伴う暴風雨や、発達した低気圧の通過に伴う強風により、風あたりの強い園地を中心に果梗枝の折損による落果や風傷果等が発生した。
- ・雨 害 湿 潤 害 : 10月中旬以降収穫期にかけて、高温・多雨に推移したため浮皮果が発生した。
- ・病 害 : 台風13号(9月7日)・16号(9月20日)の豪雨により一部地域において褐色腐敗病が発生した。

上記被害により通常災害となった。

### イ. 平成28年産 キウイフルーツ(半相殺一般)

- ・風 水 害 : 生育期間中、収穫期にかけて台風16号(9月20日)、台風18号(10月5日)の上陸に伴う暴風雨や、発達した低気圧の通過に伴う強風により、風あたりの強い園地を中心に枝折れ・風傷果・風スレ果等が発生した。
- ・干 害 : 平成28年7月上旬から8月下旬の干ばつ(高温・多照・寡雨推移)により、小玉果が発生した。
- ・高 温 ・ 強 日 射 : 7月上旬から8月下旬にかけての高温・強日射により日焼け果が発生した。

上記被害により通常災害となった。

### ウ. 平成29年産 指定かんきつ(半相殺一般)

- ・干 害 : 平成28年7月上旬から8月下旬の干ばつ(高温・多照・寡雨推移)により、果実肥大が抑制され小玉果が発生した。
- ・風 水 害 : 生育期間中、収穫期にかけて台風16号(9月20日)、台風18号(10月5日)の上陸に伴う暴風雨や、発達した低気圧の通過に伴う強風により、風あたりの強い園地を中心に落果・風傷果等が発生した。
- ・寒 害 : 平成28年12月中旬から平成29年1月中旬の急激な気温の低下(冷えこみ・低温推移)により、低温障害果(果皮障害果)が発生した。

上記被害により通常災害となった。

### エ. 平成29年産 もも(半相殺一般)

- ・高 温 ・ 多 雨 : 平成29年5月上旬から6月下旬にかけての高温・多雨により、核割れ果が発生した。
- ・病 害 : 5月中旬以降の強風・多雨により、せん孔細菌病が発生した。
- ・風 水 害 : 低気圧による強風により、枝折れ・落果・擦れ果等が発生した。

上記被害により通常災害となった。

### オ. 平成29年産 びわ(半相殺一般)

- ・凍 霜 害 : 平成29年1月23日から26日にかけての寒波の襲来により気温が低下し、幼果(核)の凍死が発生した。
- ・干 害 : 4月下旬から収穫期にかけての干ばつ(少雨推移)により肥大が抑制され小玉傾向となった。
- ・高 温 害 : 5月中旬から収穫期にかけて、高温に推移したため、へそ黒症等の高温障害果が発生した。

上記被害により通常災害となった。

カ. 平成29年産 かき(半相殺一般)

- ・ 干 害 : 平成29年7月中旬から9月上旬にかけて少雨で推移したことから肥大が抑制され小玉傾向となった。
- ・ 風 水 害 : 台風5号(8月7日)、台風18号(9月17日)、台風21号(10月22日及び23日)、台風22号(10月29日)の上陸に伴う暴風雨や低気圧による強風により、風あたりの強い園地を中心に枝折れ・落果・風傷果等(擦れ果・ニエ果)が発生した。
- ・ 雨 害 湿 潤 害 : 9月中旬から10月下旬にかけての曇天・多雨により汚損果が発生した。
- ・ 虫 害 : 9月中旬以降カメムシの異常発生により、吸害による被害果が発生した。
- ・ 病 害 : 10月中旬以降の多雨・多湿推移により、炭そ病が発生した。

上記被害により通常災害となった。

キ. 平成29年産 うめ(半相殺一般)

- ・ 寒 害 ] : 開花期間中にあたる平成29年2月上旬から2月下旬にかけての天候不順により、ミツバチの活動できる条件(最高気温12度以上で風が弱く、無降雨)を満たす日が少なかったことにより、受精不良による結実不良園が多発した。また、一部の園地では同期間中の降雨による結実不良園が発生した。
- ・ ひ ょ う 害 : 4月15日に、南部支所管内で降雹があり、陥没果及び傷果が発生した。
- ・ 風 水 害 : 低気圧による強風により、落果及び傷果が発生した。
- ・ 干 害 : 4月下旬から収穫期にかけて少雨で推移したことから、肥大が抑制され小玉傾向となった。

上記被害により異常災害になった。

ク. 平成29年産 すもも(半相殺一般)

- ・ 雨 害 湿 潤 害 : 開花期間中にあたる平成29年4月上旬から中旬にかけての天候不順により、ミツバチの活動できる条件(最高気温12度以上で風が弱く、無降雨)を満たす日が少なかったことにより、受精不良による結実不良園が発生した。
- ・ 干 害 : 4月下旬から収穫期にかけて少雨に推移したことから、肥大が抑制され小玉傾向となった。
- ・ 風 水 害 : 低気圧による強風により、落果・傷果等が発生した。

上記被害により、南部支所が通常災害となり、北部支所が異常災害となった。

## (支 払)

項 目 果樹共済 再保険区分	支払年月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金
			(再)保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	共済金
うんしゅうみかん 半相一般28年産	平成29年5月25日	円 258,841,580	円 0	円 250,343,608	円 8,497,972	円 0	円 0	% 100.0
キウイフルーツ 半相一般28年産	平成29年8月17日	2,701,620	0	2,701,620	0	0	0	100.0
指定かんきつ 半相一般29年産	平成29年8月17日	13,713,640	0	13,713,640	0	0	0	100.0
も 半相一般29年産	平成30年2月26日	19,626,200	0	19,626,200	0	0	0	100.0
び 半相一般29年産	平成29年12月4日	2,208,000	0	2,208,000	0	0	0	100.0
か 半相一般29年産	平成30年4月3日	28,073,960	0	28,073,960	0	0	0	100.0
う 半相一般29年産	平成29年12月4日	718,599,728	295,438,314	365,803,841	398,513	1,723,122	55,235,938	100.0
す 半相一般29年産	平成30年2月26日	4,510,020	1,736,299	2,342,999	430,722	0	0	100.0
合 計		1,048,274,748	297,174,613	684,813,868	9,327,207	1,723,122	55,235,938	100.0

組合名 果樹共済 再保険区分	和歌山北部			和歌山中南部			和歌山南部			計		
	被害戸数	共済金	保険金	被害戸数	共済金	保険金	被害戸数	共済金	保険金	被害戸数	共済金	保険金
うんしゅうみかん 半相一般28年産	延 104 実 91	円 7,624,880	円 4,574,928	延 916 実 828	円 230,552,800	円 138,331,680	延 140 実 139	円 20,663,900	円 12,398,340	延 1,160 実 1,058	円 258,841,580	円 155,304,948
キウイフルーツ 半相一般28年産	34	2,701,620	1,620,972							34	2,701,620	1,620,972
指定かんきつ 半相一般29年産	延 36 実 34	3,047,270	1,828,362	延 103 実 101	9,387,800	5,632,680	延 17 実 17	1,278,570	767,142	延 156 実 152	13,713,640	8,228,184
もも 半相一般29年産	延 176 実 173	17,446,610	10,467,966	延 12 実 11	2,179,590	1,307,754				延 188 実 184	19,626,200	11,775,720
びわ 半相一般29年産				24	2,208,000	1,324,800				24	2,208,000	1,324,800
かき 半相一般29年産	延 331 実 315	26,608,290	15,964,974	延 28 実 28	1,465,670	879,402				延 359 実 343	28,073,960	16,844,376
うめ 半相一般29年産	延 44 実 44	2,001,570	1,214,280	延 15 実 15	1,354,288	966,544	延 874 実 860	715,243,870	547,154,337	延 933 実 919	718,599,728	549,335,161
すもも 半相一般29年産	43	3,538,490	2,817,612				10	971,530	582,918	延 53 実	4,510,020	3,400,530
合計	延 768 実 734	62,968,730	38,489,094	延 1,098 実 1,007	247,148,148	148,442,860	延 1,041 実 1,026	738,157,870	560,902,737	延 2,907 実 2,767	1,048,274,748	747,834,691



(4) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額						徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	
						特 定 園芸施設	本体 復旧	附帯 施設	附帯 復旧	施設内 農作物	撤去 費用				
ガラス室Ⅰ類		人	棟	m <sup>2</sup>	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類		30	41	27,567	282,607	215,760	198,232	6,419	5,447	431		5,231	108,437	71,991	180,428
プラハウスⅠ類															
プラハウスⅡ類		862	2,618	768,241	1,565,032	1,217,630	1,145,992	63,569	3,015	460		4,594	12,024,569	4,836,347	16,860,916
プラハウスⅢ類		322	525	436,960	1,319,371	921,191	894,798	12,322	5,487			8,584	7,515,105	4,186,557	11,701,662
プラハウスⅣ類甲		153	261	147,594	578,668	437,233	417,729	10,379	7,492			1,633	2,794,809	2,081,552	4,876,361
プラハウスⅣ類乙		26	36	23,123	146,258	115,665	99,971		14,310			1,384	88,073	63,197	151,270
プラハウスⅤ類		243	343	238,191	1,580,830	1,260,859	968,731	125,082	137,256	24,621		5,169	2,013,915	1,186,672	3,200,587
プラハウスⅥ類		55	442	46,138	73,201	57,971	56,363	1,001				607	364,230	188,556	552,786
プラハウスⅦ類															
合 計		延 1,691 実 1,179	4,266	1,687,814	5,545,967	4,226,309	3,781,816	218,772	173,007	25,512		27,202	24,909,138	12,614,872	37,524,010

支所名	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額						徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	
						特 定 園芸施設	本体 復旧	附帯 施設	附帯 復旧	施設内 農作物	撤去 費用				
北 部		人	棟	m <sup>2</sup>	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円
北 部		691	2,006	741,790	2,032,903	1,430,967	1,387,100	2,929	22,151			18,787	12,667,749		
中 部		302	806	226,680	804,773	629,486	579,149		48,232			2,105	3,394,248		
南 部		698	1,454	719,344	2,708,291	2,165,856	1,815,567	215,843	102,624	25,512		6,310	8,847,141		
合 計		延 1,691 実 1,179	4,266	1,687,814	5,545,967	4,226,309	3,781,816	218,772	173,007	25,512		27,202	24,909,138	12,614,872	37,524,010

○引受の概況

特定園芸施設の引受戸数は、前年に比べ59戸減の1,691戸(実1,179戸)で、棟数は183棟減の4,266棟(前年比95.9%)となった。主な要因は、ガラス室Ⅱ類・プラスチックハウスⅣ類乙大型ハウスは増加したものの、プラスチックハウスⅡ類・Ⅲ類・Ⅳ類甲・Ⅴ類・Ⅵ類の減少によるものである。

また、設置面積は、1,687,814 m<sup>2</sup>で前年より49,255 m<sup>2</sup>(前年比97.2%)と減少し、共済金額については42億2,631万円で前年より1億425万円(前年比97.6%)減少した。

また、事業計画に対しては、引受棟数(計画比91.4%)、共済金額(計画比93.0%)とも計画数値を下回った。

## (被 害)

施設区分	被 害				損 害 の 額	共 済 金							保 険 金	共 済 金 共 済 金 額
	組合員数	棟 数	附 帯 施設数	撤去費用		特 定 園芸施設	本体 復旧	附帯 施設	附帯 復旧	施設内 農作物	徹去 費用	合計		
	人	棟	基	棟	円	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類														
ガラス室Ⅱ類														
プラハウスⅠ類														
プラハウスⅡ類	159	223	1		15,670,911	11,818,690	62,441	26,442	1,938			11,909,511	1,032,036	1.0
プラハウスⅢ類	63	73	1		9,614,106	6,914,644		54,864				6,969,508	0	0.8
プラハウスⅣ類甲	38	55			5,280,402	3,926,693						3,926,693	0	0.9
プラハウスⅣ類乙	2	2			384,383	307,506						307,506	0	0.3
プラハウスⅤ類	8	10	1		916,346	634,632		98,440				733,072	0	0.1
プラハウスⅥ類	6	7			470,047	375,747						375,747	139,528	0.6
プラハウスⅦ類														
合 計	延 276 実 235	370	3		32,336,195	23,977,912	62,441	179,746	1,938	0	0	24,222,037	1,171,564	0.6

支所名	被 害				損 害 の 額	共 済 金							保 険 金	共 済 金 共 済 金 額
	組合員数	棟 数	附 帯 施設数	撤去費用		特 定 園芸施設	本体 復旧	附帯 施設	附帯 復旧	施設内 農作物	徹去 費用	合計		
	人	棟	基	棟	円	円	円	円	円	円	円	円	円	%
北 部	137	189	1		15,285,603	10,636,583		54,864				10,691,447	348,498	0.7
中 部	64	89			7,292,180	5,728,617						5,728,617	152,243	0.9
南 部	75	92	2		9,758,412	7,612,712	62,441	124,882	1,938			7,801,973	670,823	0.4
合 計	延 276 実 235	370	3	0	32,336,195	23,977,912	62,441	179,746	1,938	0	0	24,222,037	1,171,564	0.6

## ○被害及び評価の概況

被害の主な要因は、台風や低気圧の通過に伴う強風によるものである。

台風については、9月17日の台風18号〔9/17：最大瞬間風速38.4m/s（和歌山地方気象台）・同29.5m/s（潮岬特別地域気象観測所）〕、10月22日～23日の台風21号〔10/22：最大瞬間風速33.7m/s（潮岬特別地域気象観測所）・10/23：最大瞬間風速31.9m/s（和歌山地方気象台）〕において、大きな被害となった。

被害棟数370棟の共済事故の内訳として、風害365棟、水害3棟、風水害1棟及び落雷1棟で共済金 24,222,037円となった。

## (支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金	備 考
	保 険 金	手持共済掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	そ の 他		
円	円	円	円	円	円	%	
24,222,037	1,171,564	23,050,473				100.0	

## (5)任意共済関係

### 農機具損害共済

(引 受)

支所名	戸 数	引受台数	共済金額	共 済 掛 金			1台当たり平均 共 済 金 額
				純共済掛金	賦 課 金	合 計	
北部	187	380	57,336	1,990,126	597,245	2,587,371	151
中部	59	73	8,081	280,765	83,750	364,515	111
南部	51	92	18,244	639,338	191,071	830,409	198
合 計	297	545	83,661	2,910,229	872,066	3,782,295	154

#### ○引受の概況

引受台数は、北部・中部・南部支所とも前年度実績を下回り、前年より339台減の545台となった。共済金額についても、北部・中部・南部支所とも前年より減少しており、2億849万円減の8億3,661万円となった。

また、事業計画に対しても、3支所で事業計画を下回り、引受台数で115台(計画比82.6%)、共済金額で1,819万円(計画比97.9%)下回る結果となった。

機種別では乗用トラクター99台、草刈機70台、自脱型コンバイン67台、田植機52台の順となっている。

・前年度対比 ..... 戸数 69.6% 引受台数 61.7% 共済金額 80.1%  
 ・事業計画対比 ..... 引受台数 82.6% 共済金額 97.9%

#### (事 故)

支所名	加入総 共済金額	共 済 事 故 の 種 類				被 害 率
		接 触	水 害	そ の 他	計	
北部	57,336	事故台数	11	2	13	0.25
		支払共済金	1,278,200	168,281	1,446,481	
中部	8,081	事故台数	1	1	2	0.22
		支払共済金	174,916	174,916	174,916	
南部	18,244	事故台数	1	1	2	0.81
		支払共済金	1,351,870	119,930	1,471,800	
合 計	83,661	事故台数	11	3	16	0.37
		支払共済金	1,278,200	1,520,151	294,846	

#### ○事故の概況

事故台数は16台で前年に比べ16台減となり、支払共済金については3,093,197円の支払いとなった。

機種別には、乗用トラクター5台・1,670,892円、自脱型コンバイン4台・631,944円、草刈機2台・123,245円、枝打機1台・174,916円、田植機1台・169,212円、スピードスプレイヤー1台・154,707円、管理機1台・39,799円、防霜ファン1台・128,482円となっている。

## (6)農機具更新共済関係

引受実績なし

## (7) 業務関係

## ア 重要な処理事項

年 月 日	処 理 事 項	場 所
平成29年 4月3日	第1回余裕金運用管理委員会、第1回コンプライアンス改善委員会	和歌山市
〃	第1回理事会、監事会	和歌山市
4月11日	内部監査（北部支所）	紀の川市
4月12日	広報委員会議	和歌山市
〃	収入保険説明（農業会議「農の雇用事業」）	和歌山市
4月13日	内部監査（伊都出張所）	かつらぎ町
4月14日	内部監査（和歌山出張所）	和歌山市
4月14～15日	都道府県農業災害補償制度関係主管課長会議、農業共済組合連合会等 全国参事会議、西日本参事交流会	東京都
4月17～18日	第2回収入保険制度に係る研修会	東京都
4月20日	第1回農業共済担当新任職員講習会	兵庫県
4月21日	近畿地区連合会等参事会議	奈良県
〃	事業一課担当者会議	和歌山市
4月23日	J Aまつり	有田川町
4月25日	農業共済新聞普及推進会議	東京都
〃	旧組合決算監査（南部支所）	田辺市
4月26日	旧組合決算監査（北部支所）	紀の川市
〃	果樹共済（びわ）損害評価現地研修会	湯浅町・海南市
4月27日	旧組合決算監査（中部支所）	湯浅町
〃	収入保険説明（J Aながみね下津町農業研究会青年同志会研修会）	海南市
〃	果樹共済基準収穫量設定講習会	有田川町
4月28日	役員推薦会議	和歌山市
5月1日	損害評価会運営会議	和歌山市
5月8日	第1回稲WCS研究部会	和歌山市
5月9日	旧連合会決算監査、監事会	和歌山市
5月10日	県ヒアリング	和歌山市
5月11～12日	防火・防災管理講習	和歌山市
5月12日	果樹共済（うめ）損害評価現地研修会	田辺市
5月12日	収入保険説明（和歌山県4Hクラブ連絡協議会）	御坊市
〃	有機栽培実践グループ総会	かつらぎ町
5月15～19日	第1回広報技術研修会	東京都
5月16日	園芸施設共済損害評価モデル講習会	湯浅町・有田市
〃	職員協議会通常総会、第1回役員会	和歌山市
5月17日	和歌山県獣医師会通常理事会	和歌山市
〃	伊都地域果樹病害虫防除対策推進協議会第1回推進員会	橋本市
5月18日	第2回理事会	和歌山市
5月19日	第1回収入保険制度に関する特別研修	東京都
〃	果樹共済事務打合せ会議	和歌山市
5月22日	近畿地区連合会等長会議	兵庫県
5月23日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	和歌山市
5月24日	損害評価会果樹共済部会（うんしゅうみかん）	和歌山市
5月25日	農業共済運営検討委員会	和歌山市
5月26日	果樹共済（もも・すもも）現地研修会	紀の川市
〃	農業共済ネットワーク化システムSBC運用体制打合せ会議	和歌山市

年 月 日	処 理 事 項	場 所
平成29年 5 月 29 日	収入保険説明（和歌山県生活研究グループ連絡協議会及び研修会）	和 歌 山 市
”	和歌山県地方農業気象協議会幹事会	和 歌 山 市
5 月 30 日	和歌山県植物防疫協会理事会	和 歌 山 市
5 月 31 日	紀の川市農業再生協議会総会	紀 の 川 市
6 月 1 日	農作物共済（麦）損害評価現地研修会	かつらぎ町・橋本市
”	和歌山市鳥獣被害対策協議会総会	和 歌 山 市
”	伊都地方農業振興協議会総会・第1回幹事会	か つ ら ぎ 町
6 月 2 日	N O S A I 部長連絡協議会	和 歌 山 市
6 月 5 日	収入保険制度に関する研修会	和 歌 山 市
”	暴迫（不当要求防止）責任者会議	和 歌 山 市
6 月 6 日	和歌山県果樹共済事業協議会	和 歌 山 市
6 月 6 日	収入保険説明（和歌山県果樹共済事業協議会）	和 歌 山 市
6 月 8 日	収入保険説明（就農支援センター）	御 坊 市
”	N O S A I 全国決算監査	東 京 都
6 月 9 日	N O S A I 全国第1回理事会、第3回全国農業共済組合連合会設立準備委員会	東 京 都
”	農業再生協議会総会	和 歌 山 市
”	担い手育成協議会総会	和 歌 山 市
”	近畿地区広報委員会議	大 阪 府
6 月 12 日	第1回通常総代会	和 歌 山 市
”	役員就任予定者会議	和 歌 山 市
6 月 13 日	和歌山市農業再生協議会通常総会	和 歌 山 市
”	人・農地プラン（地域農業マスタープラン）検討会	和 歌 山 市
6 月 15 日	報酬月額算定基礎届事務説明会	和 歌 山 市
”	果樹共済実務担当者打合せ会議	和 歌 山 市
6 月 16 日	和歌山県植物防疫協会総会、虫供養、情報交換会	和 歌 山 市
”	第2回収入保険制度に関する特別研修	東 京 都
”	内部監査（御坊出張所）	御 坊 市
6 月 20 日	第1回生乳の安心・安全の確保のための近畿地区協議会	大 阪 府
6 月 21 日	内部監査（南部支所）	田 辺 市
6 月 21～22日	D o c u W o r k s 講習会	和 歌 山 市
6 月 22 日	事業一課担当者会議	和 歌 山 市
6 月 23 日	和歌山中部地域果樹共済事業協議会	湯 浅 町
6 月 23 日	収入保険説明（和歌山中部地域果樹共済事業協議会）	湯 浅 町
”	農林年金連絡協議会構成団体事務責任者会議	和 歌 山 市
6 月 26 日	社会保険委員会総会・研修会、年金委員・健康保険委員合同研修	和 歌 山 市
”	紀の川市鳥獣害防止対策協議会総会	紀 の 川 市
6 月 27 日	第4回全国農業共済連合会設立準備委員会、N O S A I 全国第129回通常総会、	東 京 都
”	第1回全国会長等会議	
”	地域自衛防疫体制推進事業第1回検討会	和 歌 山 市
”	飼養衛生管理基準等緊急啓発促進事業第1回普及促進委員会	和 歌 山 市
6 月 27～28日	安全衛生推進者養成講習	和 歌 山 市
6 月 28 日	和歌山県農業会議総会、常設審議委員会	和 歌 山 市
”	和歌山県農業公社定時評議員会	和 歌 山 市
6 月 29 日	収入保険制度に関する研修会	和 歌 山 市
”	農業共済運営検討委員会	和 歌 山 市
”	和歌山県水土里情報活用推進協議会幹事会・総会	和 歌 山 市

年 月 日	処 理 事 項	場 所
平成29年 6 月 30 日	和歌山県信用農業協同組合連合会総会	和 歌 山 市
〃	第 1 回全国和牛能力共進会和歌山県出品推進協議会調査検討委員会・総会	和 歌 山 市
〃	畜産協会わかやま第62回定時総会	和 歌 山 市
7 月 3 日	紀の川市再生協議会臨時総会	紀 の 川 市
7 月 3 日	収入保険説明（紀の川市再生協議会臨時総会）	紀 の 川 市
7 月 4 日	くろしお苺生産販売組合総会	那 智 勝 浦 町
7 月 4 日	収入保険説明（くろしお苺生産販売組合総会）	那 智 勝 浦 町
7 月 4～6 日	第 2 回農業共済担当新任職員講習会	兵 庫 県
7 月 7 日	農業共済団体の運営状況に関するヒアリング（農林水産省）	東 京 都
〃	第20回近畿獣医畜産技術交流会	兵 庫 県
〃	アライグマ安全防除講習会	湯 浅 町
7 月 10 日	伊都地域果樹病害虫防除対策推進協議会通常総会・研修会	橋 本 市
7 月 11 日	水稻一体化打合せ会議	和 歌 山 市
〃	伊都地方鳥獣被害防止対策連絡協議会総会	橋 本 市
7 月 12 日	収入保険制度等についての地域ブロック別説明会	京 都 府
〃	内部監査（海草出張所）	海 南 市
7 月 12～13 日	第 1 回全国参事会議、西日本参事交流会	東 京 都
7 月 13 日	内部監査（中部支所）	湯 浅 町
7 月 14 日	第 3 回収入保険制度に関する特別研修	東 京 都
〃	和歌山県畜産経営指導事業に係る畜産経営体支援指導研究会	和 歌 山 市
7 月 19 日	N O S A I 職員研修会	和 歌 山 市
〃	和海地方総合農政推進協議会総会	和 歌 山 市
7 月 19 日	収入保険説明（和海地方総合農政推進協議会総会）	和 歌 山 市
7 月 19～21 日	N O S A I 理事研修会	東 京 都
7 月 20 日	海草地方農作物病害虫及び鳥獣害対策協議会総会	和 歌 山 市
7 月 20～21 日	全職協第80回通常総会、第 1 回都道府県職員会長会議	東 京 都
7 月 24 日	地域自衛防疫体制強化推進事業に係る地域自衛防疫活動推進対策研修会	和 歌 山 市
7 月 24～27 日	システム管理者養成研修会「情報セキュリティ対策実践コース」	東 京 都
7 月 25 日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
7 月 25 日	近職協第50回通常総会、第 1 回会長・事務局長会議	京 都 府
7 月 26 日	A Q 総合柑橘部会通常総会	有 田 川 町
〃	第 1 回種牛共進部会	和 歌 山 市
7 月 27 日	社会保険事務の総合調査	和 歌 山 市
7 月 28 日	第 3 回理事会	和 歌 山 市
7 月 31 日	収入保険制度に関する研修会	和 歌 山 市
8 月 1 日	宮内庁献上温室柿荷造り式	か つ ら ぎ 町
〃	ブランド有田果樹産地協議会総会	有 田 市
〃	水稻損害評価員会議	田 辺 市
8 月 2 日	和歌山県鳥獣害対策協議会幹事会	和 歌 山 市
〃	市町村統計検討協議会	和 歌 山 市
〃	内部監査（和歌山出張所）	和 歌 山 市
8 月 3 日	水稻損害評価員会議	み な べ 町
8 月 3～4 日	セキュリティ研修会	和 歌 山 市
8 月 7 日	農業経営収入保険制度普及・推進事業に係る説明会	東 京 都
8 月 7～10 日	農林水産省主催経理研修会	東 京 都
8 月 9 日	「農の雇用事業」事業説明会	和 歌 山 市
〃	収入保険説明会（農業会議「農の雇用事業」）	和 歌 山 市
〃	「信頼のきずな」未来につなげる運動全国推進会議	東 京 都
〃	かつらぎ町鳥獣被害対策協議会総会	か つ ら ぎ 町

年 月 日	処 理 事 項	場 所
平成29年 8 月 10 日	損害評価会果樹共済部会（指定かんきつ・キウイフルーツ）	和 歌 山 市
〃	農林年金事務担当者研修会	和 歌 山 市
〃	全国和牛能力共進会宮城大会出品者激励会	和 歌 山 市
〃	農作物共済（水稲）損害評価現地研修会	田辺市・白浜町
〃	田辺市地域農業再生協議会総会	田 辺 市
8 月 15 日	農作物共済（水稲）損害評価見回り調査（南部支所）	田 辺 市 他
8 月 17 日	内部監査（伊都出張所）	か つ ら ぎ 町
8 月 18 日	果樹共済（かき）損害評価現地研修会	か つ ら ぎ 町
8 月 21 日	第 2 回管理職養成研修会	東 京 都
～9 月 1 日		
8 月 22 日	第 2 回余裕金運用管理委員会、第 2 回コンプライアンス改善委員会	和 歌 山 市
〃	農業共済運営検討委員会	和 歌 山 市
8 月 23 日	内部監査（北部支所）	紀 の 川 市
8 月 24 日	農業共済組合巡回ヒアリング	和 歌 山 市
〃	日高果樹技術者協議会総会	御 坊 市
8 月 25 日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
〃	収入保険説明（和歌山県イチゴ生産組合連合会総会）	紀 の 川 市
〃	広報委員会議	和 歌 山 市
8 月 28 日	収入保険説明（SUN・燦紀南農業者の集い）	田 辺 市
〃	収入保険普及推進（和歌山県、近畿農政局和歌山支局）	和 歌 山 市
8 月 29 日	柿の魅力発信フェア	橋 本 市
8 月 30 日	収入保険普及推進（農業会議、養蜂協会）	和 歌 山 市
8 月 31 日	第 5 回全国農業共済組合連合会設立準備委員会	東 京 都
9 月 1 日	収入保険普及推進（養鶏協会）	有 田 川 町
9 月 3 日	J A ありだふれあい祭り	有 田 川 町
9 月 4 日	料率に係る県との打合せ	和 歌 山 市
9 月 5 日	収入保険普及推進（近畿農政局和歌山支局）	和 歌 山 市
9 月 6 日	第 6 回全国農業共済組合連合会設立準備委員会、N O S A I 全国第 2 回理事会、 第 2 回全国会長等会議	東 京 都
〃	内部監査（南部支所）	田 辺 市
9 月 8 日	果樹共済担当者会議	和 歌 山 市
〃	農作物共済（水稲）損害評価見回り調査（北部支所）	紀 の 川 市 他
〃	橋本市農業再生協議会総会	橋 本 市
9 月 11 日	職員採用試験（筆記試験）	和 歌 山 市
9 月 14 日	果樹共済（うんしゅうみかん）損害評価現地研修会	湯浅町・有田川町
〃	収入保険テレビ会議	和 歌 山 市
9 月 14～15 日	伊都地方鳥獣被害防止対策連絡協議会先進地研修会	石 川 県
9 月 15 日	近畿地区家畜共済担当者会議	大 阪 府
〃	内部監査（中部支所）	湯 浅 町
9 月 19 日	職員採用試験（面接試験）	和 歌 山 市
〃	第 4 回収入保険制度に関する特別研修	東 京 都
9 月 20 日	J A ビル所有者会議	和 歌 山 市
〃	第 2 回退職給与金施設運用委員会	東 京 都
9 月 21 日	内部監査（海草出張所）	湯 浅 町
9 月 22 日	第 4 回理事会	和 歌 山 市
9 月 25 日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
〃	収入保険説明（和歌山県農業会議）	和 歌 山 市
9 月 25～29 日	農林水産省主催法令等研修会	東 京 都
9 月 26 日	書写全国コンクール和歌山県審査会	和 歌 山 市
9 月 27 日	公正採用選考人権啓発推進委員等研修会	和 歌 山 市
〃	飼養衛生管理基準等啓発普及説明会	和 歌 山 市
10 月 3 日	鳥獣被害対策研修会	岩 出 市
10 月 4 日	和牛繁殖説明会	和 歌 山 市
〃	安全運転管理者講習	橋 本 市
10 月 5 日	第 1 回 N O S A I 事業運営検討会（事務機械化関係）	東 京 都
〃	家畜地域自衛防衛体制強化推進事業等説明会	和 歌 山 市

年 月 日	処 理 事 項	場 所
平成29年 10月 5日	農業災害補償法見直しに関する農林水産省・地方参事官・農業共済団体合同テレビ会議	和 歌 山 市
〃	安全運転管理者講習	和 歌 山 市
10月 6日	事業一課担当者会議	和 歌 山 市
〃	近畿地区広報員会議	滋 賀 県
〃	J A紀州ミニトマト部会	印 南 町
〃	J A紀南梅部会総会	田 辺 市
10月 8日	獣医学術近畿地区学会	大 阪 府
10月 13日	農林漁業人権啓発推進会議	紀 の 川 市
10月 10日	収入保険伝達研修（中部支所、海草出張所）	
10月 10日	内部監査（伊都出張所）	か つ ら ぎ 町
10月 11日	内部監査（本所）	和 歌 山 市
10月 11～12日	第1回全国参事会議、西日本参事交流会	東 京 都
10月 12日	内部監査（北部支所）	紀 の 川 市
10月 10～13日	農林水産省主催家畜共済研修会	東 京 都
10月 13日	果樹共済（キウイフルーツ）損害評価現地研修会	
10月 13日	内部監査（和歌山出張所）	和 歌 山 市
10月 13～14日	J Aビル防火・防災研修会	和 歌 山 市
10月 14～15日	第2回退参事会議、西日本地区参事交流会	東 京 都
10月 16日	障害者雇用管理セミナー	和 歌 山 市
〃	収入保険調査委託県内説明会	
10月 17日	J Aビル区分所有者管理部長会議	和 歌 山 市
18	農林漁業人権啓発推進会議	
10月 19～20日	内部監査（本所）	和 歌 山 市
10月 20日	県内J A広報担当者会議	和 歌 山 市
〃	農林水産省と地方農政局等とのテレビ会議	和 歌 山 市
〃	防火・防災体験研修会	和 歌 山 市
10月 24日	任意共済全国研修会	東 京 都
〃	農林漁業人権啓発推進会議	有 田 川 町
10月 25日	和歌山県農業会議常設審議委員会	和 歌 山 市
〃	監事監査（中間監査）	田 辺 市
〃	収入保険（J A協力依頼会議）	和 歌 山 市
10月 26日	第7回全国農業共済組合連合会設立準備委員会	東 京 都
〃	植物防疫協会講演会、実地研修会	有 田 川 町
10月 27日	果樹共済部会うんしゅうみかん県下見回り調査	県 下 一 円
10月 28日	第4回紀北種牛共進会	和 歌 山 市
10月 30日	第5回収入保険制度に関する特別研修	東 京 都
10月 31日	農林漁業人権啓発推進会議	和 歌 山 市
10月 31日	上級管理職研修会 I	東 京 都
～11月 2日		
11月 1～2日	人権啓発研修会	和 歌 山 市
11月 2日	監事会・上半期監査	和 歌 山 市
11月 〃日	内定式	和 歌 山 市
11月 6日	収入保険全国説明会	東 京 都
〃	収入保険説明（和歌山県果樹新品種研究同志会）	有 田 川 町
11月 6～7日	家畜診療技術近畿地区発表会・研修会	大 阪 府
11月 6～10日	農林水産省主催法令等研修会	東 京 都
11月 7～8日	全国農業共済協会監事会打合せ会、上半期業務監査、第3回理事会、 第3回全国会長等会議、第8回全国農業共済組合連合会設立準備委員会	東 京 都
11月 10日	年金委員・健康保険委員合同研修会	和 歌 山 市
11月 12日	田辺市農林業まつり	田 辺 市
11月 13～14日	近畿地区広域災害損害評価研修会	兵 庫 県
11月 15～17日	上級管理職研修会 II	東 京 都
11月 16日	社会人課程等就農研修	御 坊 市
11月 17日	和歌山県養蜂協会理事会	和 歌 山 市
〃	果樹共済（指定かんきつ）損害評価現地研修会	
11月 19日	紀美野町農林商工まつり	紀 美 野 町
11月 20日	和海地方総合農政協議会先進地視察	兵 庫 県
11月 20～21日	農業災害補償制度70周年記念大会世話人会、職員会事務局合同会議	東 京 都





年 月 日	処 理 事 項	場 所
平成30年 2月2日	和歌山市農業再生協議会幹事会	和歌山市
〃	収入保険説明（養蜂組合）	紀の川市
2月1～2日	伊都地方農業振興協議会幹事会の先進地研修会	愛媛県
2月5日	収入保険説明（那賀養蜂協会）	紀の川市
2月6日	内部監査（伊都出張所）	かつらぎ町
〃	事務機械化地区連絡者会議、農業共済事業事務処理システム改修等事業実施主体連合会等合同会議	東京都
2月6～9日	農林水産省主催園芸施設共済研修会	東京都
2月7日	和歌山県農作物鳥獣害対策アドバイザー既認定者研修会	有田川町
〃	西牟婁地方農業士会経営研修会	
2月8日	定款等作成委員打合せ兼第10回全国農業共済組合連合会設立準備委員会、第4回理事会	東京都
2月9日	人・農地プラン（地域農業マスタープラン）検討会、和歌山市農業再生協議会通常総会	和歌山市
2月10日	家畜診療等技術研究発表会	兵庫県
13日	損害評価会果樹共済部会	和歌山市
〃	全酪連・酪農セミナー	岡山県
2月13～14日	第2回NOSA I 事業運営検討会（事務機械化関係）、第3回全国参事会議、西日本参事交流会	東京都
〃	農業共済新聞全国研修集会、全国広報委員会議	東京都
2月13～16日	農林水産省主催農作物共済研修会	東京都
2月15日	収入保険担当者打合せ会議	東京都
2月16日	収入保険説明（むらとくらしを考える会議【生活研究グループ】）	和歌山市
2月19日	NOSA I 情報化全国会議	東京都
2月20日	第5回退職給与施設運用委員会	東京都
〃	収入保険説明（JA紀北かわかみ・いちご部会総会）	かつらぎ町
〃	紀の川市鳥獣被害防止対策協議会研修会	紀の川市
2月21日	内部監査（北部支所）	紀の川市
2月22日	第6回理事会	和歌山市
〃	家畜診療等技術全国研究集会	東京都
〃	収入保険説明（養蜂協会総会）	和歌山市
2月23日	近畿地区連合会等参事会議	滋賀県
〃	ウメ研究成果発表会	みなべ町
2月26日	全国農業共済組合連合会創立総会、第130回全国農業共済協会臨時総会	東京都
2月27日	農林水産省主催家畜共済研修会	東京都
～3月2日	農林水産省主催果樹共済研修会	東京都
3月1日	内部監査（中部支所）	湯浅町
3月2日	内部監査（海草出張所）	海南市
3月7日	内部監査（本所）	和歌山市
3月9日	内部監査（本所）	和歌山市
3月9日	正副会長打合せ会、第4回理事会	東京都
3月15日	平成29年度臨時総代会	和歌山市
3月23日	第7回理事会	和歌山市
3月27日	臨時総会、第4回全国会長等会議	東京都

## イ 総代会

### (ア) 第1回通常総代会(平成29年6月12日)

総代会日現在総代数 (A)	100 人	出席率	
本人出席 (B)	58 人	(B) / (A)	58.0 %
代理出席	0 人		
書面出席	42 人		
出席者計 (C)	100 人	(C) / (A)	100.0 %

#### 重要な議事及び議決事項

- 第1号議案 平成28年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案承認の件
- 第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算設定承認の件
- 第3号議案 平成29年度事務費賦課金の額、その徴収方法決定の件
- 第4号議案 平成29年度役員報酬、顧問弁護士の顧問料、顧問税理士の顧問料、損害評価会委員、損害評価員及び共済部長報酬決定の件
- 第5号議案 役員退任慰労金の支給承認の件
- 第6号議案 平成29年度借入金最高限度額等の決定の件
- 第7号議案 平成29年度余裕金預け先金融機関決定の件
- 第8号議案 役員選任の件
- 第9号議案 損害評価会委員選任の件
- 第10号議案 平成30年産から適用する農作物共済組合員別危険段階基準共済掛金率の設定承認の件
- 第11号議案 平成30年度引受から適用する家畜共済組合員別危険段階共済掛金標準率等の設定承認の件
- 第12号議案 平成30年度引受から適用する園芸施設共済組合員別危険段階基準共済掛金率の設定承認の件
- 第13号議案 附帯議決の件

(イ)平成29年度臨時総代会(平成30年3月15日)

総代会日現在総代数 (A)	100 人	出席率
本人出席 (B)	40 人	(B) / (A) 40.0 %
代理出席	0 人	
書面出席	57 人	
出席者計 (C)	97 人	(C) / (A) 97.0 %

重要な議事及び議決事項

第1号議案 定款及び定款付属書一部変更承認の件

第2号議案 共済規程一部変更承認の件

第3号議案 監事監査規則一部改正承認の件

第4号議案 損害評価会委員補充選任の件

ウ 組合員の増減

年度初組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
19,677人	19,102人	△575人	実組合員数

エ 役職員その他

(ア) 役職員

役 員				数	
理 事			監 事	合 計	
常勤	1人	非常勤	16人	計	17人
				3人	20人

事 項	職 員 数		
	男 (人)	女 (人)	計 (人)
参 事	1		1
総務部長	1		1
事業部長	1		1
本所総務課	3	2	5
本所企画情報課	4	2	6
本所収入保険準備室	3		3
本所事業一課	4	1	5
本所事業二課	5		5
監査室	3		3
北部支所	8	2	10
中部支所	8	2	10
南部支所	12	1	13
和歌山出張所	4		4
伊都出張所	4		4
海草出張所	4		4
御坊出張所	4		4
合 計	69	10	79

(イ) 総代、損害評価会委員、損害評価員、共済部長

総 代	損害評価会委員	損害評価員	共済部長
100人	56人	2,145人	2,379人